操作説明書
回転式乾燥機

TD6–6

タイプ **N1130..**

Electrolux

オリジナルの説明

438917880/JP
2018.05.14

目次

1 安全対策について 5
1.1 一般安全情報 6
1.2 商業用途専用 6
1.3 記号 7
2 操作パネル 8
3 プログラムの説明 9
3.1 一般 9
3.2 プログラムの説明 9
4 取り扱い 11
4.1 洗濯物の容量 11
4.2 機械をスタートするには 12
4.3 その他の機能 12
4.4 プログラムの終了時 13
5 エラーコード 14
6 メンテナンス 15
6.1 一般 15
6.2 メンテナンスの時期 15
6.3 毎日 15
6.4 外気取り入れ口 16
6.5 残留水分検知機能(RMC)を装備 16
6.6 コンデンシングユニット 16
6.7 メンテナンスは有資格者が行わねばなりません。 16

1 安全対策について

- 洗浄に工業薬品が使用されている場合、本機を使用することはできません。
- 洗い終えていない洗濯物を機械の中で乾かさないでください。
- 調理油、アセトン、アルコール、ガソリン、灯油、染み消し、テレビン油、ワックス各種、ワックスリムーバーといった物質で汚染された洗濯物は、本機で乾かす前に、熱湯に多めの洗剤を入れて洗ってください。
- 気泡ゴム (ラテックス気泡)、シャワーキャップ、防水布、ゴムを貼ったもの、気泡ゴムパッドをあしらった洋服や枕は、本機で乾かさないでください。
- 繊維の柔軟剤や同様の製品は、各製品の説明に定められた通りに使用してください。
- 乾燥サイクルの最後は熱が発生しません (クールダウンサイクル) が、これは洗濯物がダメージを受けない温度にするためです。
- ライターやマッチなど、全ての物をポケットから取り出してください。
- 警告 乾燥サイクルの終了まで決して本機を停止しないでください。やむ終えず停止する場合、洗濯物を速やかに取り出し、広げて放熱してください。
- 暖炉などの覆いのない火を含め、燃料を燃やす装置のある部屋へのガスの逆流を防止するため、十分な通気を行うことが必要です。
- ガスその他の燃料を燃焼させている機械からの煙排出用の送気管へ、排気を排出させてはいけません。
- 機械が完全な開口を妨げるような方法で、乾燥機を施錠できるドア、引きドア、機械の反対側にあるヒンジ付きのドアの背後に取り付けてはいけません。
- 機械にリントフィルターがある場合、頻繁に洗浄してください。
- 繊維くずが機械とその周辺に積もらないようにしてください。
- 本機を改造しないでください。
- 資格のある人員のみが修理を行うことが行できます。
- 認可されたスペアパーツのみを使用してください。
- サービスの実施やパーツ修理の際は、電源ケーブルは抜いてください。

- 電源がオフなったら、オペレーターは機械が全てのアクセスポイントからオフになっている（プラグが外された状態）ことを確認する必要があります。 機械の製造または設置理由からこれが不可能な場合、分離位置にロックシステムを設置することでオフにする方法が提供されなければなりません。
- 配線規則の順守：本機の据付や点検操作の前に、マルチポールスイッチを取り付けてください。
- ベース部分の開口部がじゅうたんなどで塞がれないようにしてください。
- 乾燥させる衣類の最大量： 6 kg
- 作業場での荷重排出音圧: 70 dB(A).
- 次の国に関する追加要件：AT、BE、BG、HR、CY、CZ、DK、EE、FI、FR、DE、GR、HU、IS、IE、IT、LV、LT、LU、MT、NL、NO、PL、PT、RO、SK、SI、ES、SE、CH、TR、UK:
  - 本機械は公共エリアで使用することができます。
  - 8歳以上のお子様、ならびに身体的、感覚的または知的能力が低下している、あるいは経験および知識がない方は、監視の下、または器具の安全な使用方法の指導を受け、伴う危険について理解した後、本機を使用することができます。 お子様は本機を使って遊ばないものとします。 クリーニングおよびユーザーによるメンテナンスを、監視なしでお子様が行わないものとします。
- 他の国の追加要件：
  - 身体、感覚、精神的能力が減少している方、または知識や経験が不足している方（子どもを含む）は、安全性に関する責任を持つ人物から、機器の使用について監督または指示を受けない限り、本機器を使用することができません。 お子様が本機で遊ばないよう監視してください。

1.1 一般安全情報

水滴により、電子機器 (およびその他のパーツ) へ損傷が発生する可能性を防止するため、初めて本機械を使用する24時間前までに、温度が室温である場所に置いてください。

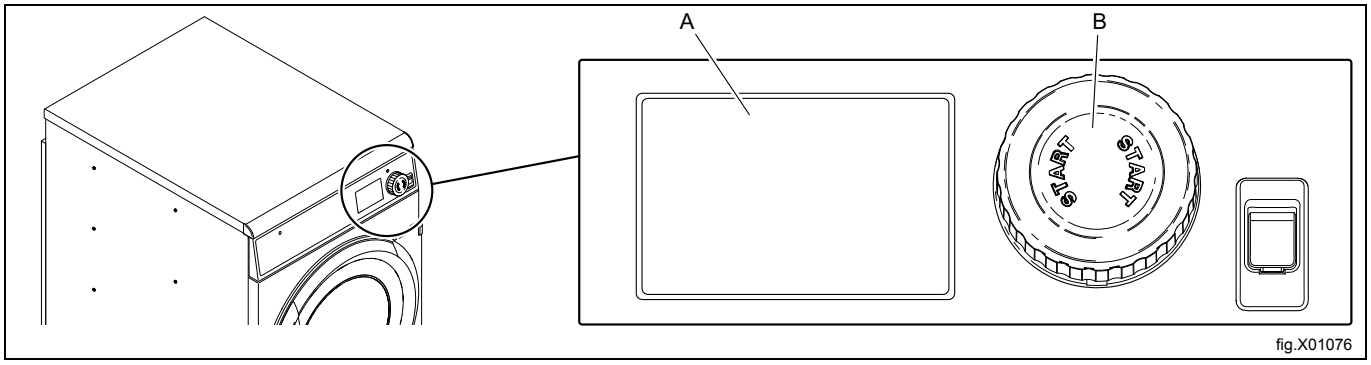
1.2 商業用途専用

本書で説明されている機械製品は、商業用、業務用専用に製造されています。

1.3 記号

	注意
	注意、加熱した表面
	注意、高電圧
	本機の使用前に説明書をお読みください

2 操作パネル



A	ディスプレイ
B	操作ノブ

3 プログラムの説明

3.1 一般

機械には、使用目的の範囲に合わせて何種類ものプログラムが組み込まれています — 市場によって異なるプログラムが使用されます。 以下のプログラムの詳細は、使用可能なプログラム例の一部の簡単な説明です。

乾燥の結果が最適なものとなるよう、それぞれの乾燥サイクルで同等の品質の衣類を乾燥することをお勧めします。

3.2 プログラムの説明

自動プログラムとタイムプログラムの 2 種類のプログラムがあります。

- 自動プログラムには水分検知機能があり、選択した乾燥度に至ると停止します。
- タイムプログラムには水分検知機能がなく、事前に設定された時間または選択した時間が終了すると停止します。

自動プログラム

プログラム名およびディプレイ上の記号	ケアラベル	プログラムの説明
標準温度 追加乾燥		標準温度。 衣類が通常よりも乾燥した場合、自動的にプログラムが停止します。
低温 追加乾燥		低温。 衣類が通常よりも乾燥した場合、自動的にプログラムが停止します。
標準温度 乾燥		標準温度。 衣類が乾燥した場合、自動的にプログラムが停止します。
低温 乾燥		低温。 衣類が乾燥した場合、自動的にプログラムが停止します。
標準温度 アイロン乾燥		標準温度。 衣類がやや湿り気を帯びた状態で、プログラムは停止します。
低温 アイロン乾燥		低温。 衣類がやや湿り気を帯びた状態で、プログラムは停止します。
低温 ダウン		低温。 衣類の種類により、希望の乾燥状態を得るためには、乾燥時間を調節する必要があります。 このプログラムは、羽毛のジャケットやキルト、枕などを乾燥させる場合に適しています。
低温 デリケート		低温。 このプログラムは、ポリエステルやポリアミドなどの化繊、および天然繊維による布地 (絹の布地) などを乾燥させる場合に適しています。
ウール		低温。 衣類が完全に乾燥する前に、プログラムは停止します。これは衣類を保護するためです。 非常にデリケートなこのプログラムは、ほとんどすべてのタイプのウール地の衣類の乾燥に適しています。例えば、毛布やジャケットなどです。
低温 モップ		低温。 モップが乾燥した場合、自動的にプログラムが停止します。 このプログラムは、化学繊維のマイクロファイバー製のモップなどを乾燥させる場合に適しています。
低温 布		低温。 布が乾燥した場合、自動的にプログラムが停止します。 このプログラムは、化学繊維のマイクロファイバー製の布などを乾燥させる場合に適しています。

タイムプログラム

プログラム名およびディプレイ上の記号	ケアラベル	説明
標準温度 乾燥時間		標準温度。 異なる乾燥時間を選択することが可能です。 時間が終了するとプログラムは停止します。
低温 乾燥時間		低温。 異なる乾燥時間を選択することが可能です。 時間が終了するとプログラムは停止します。
乾燥 乾燥時間		加熱なし。 異なる乾燥時間を選択することが可能です。 時間が終了するとプログラムは停止します。

- 標準温度 でのプログラムは、ほとんどの繊維製品に適しています。
- 低温 でのプログラムは、ポリエステル、ポリアミド、ポリアクリル酸およびエラスタン、ビスコース、ポリコットン (ポリエステルと綿の合繊) などの化学繊維、あるいは記号 (下図を参照) の付いたデリケートな布地、または「弱目のタンブル乾燥」あるいはそれに類するものの表示がある製品に使用してください。

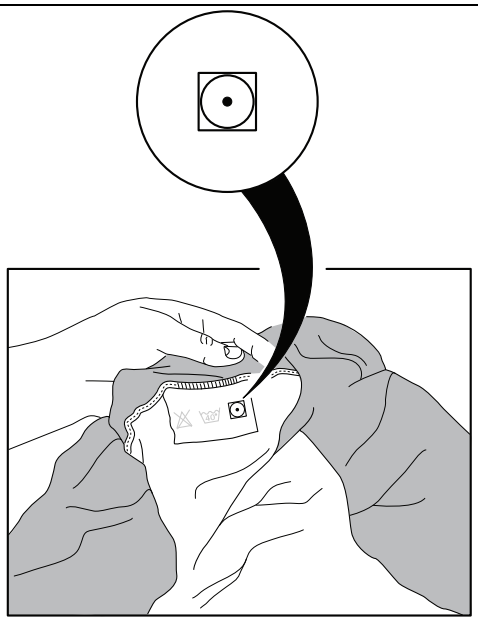
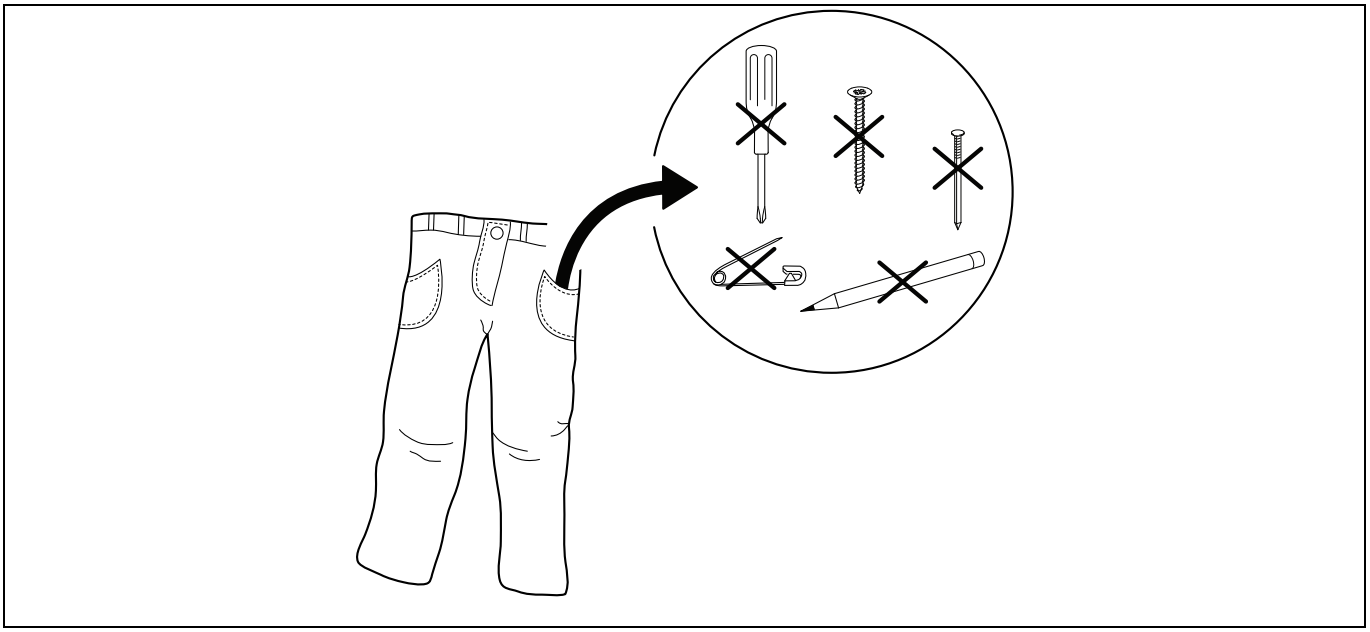


fig.X01100

4 取り扱い

4.1 洗濯物の容量

注
ポケットに入っている物を取り出し、ねじやピンなど金属製の物が残っていないことを確認します。 金属製の物はドラムを損傷する恐れがあります。



フィルターが汚れていないことを確認します。

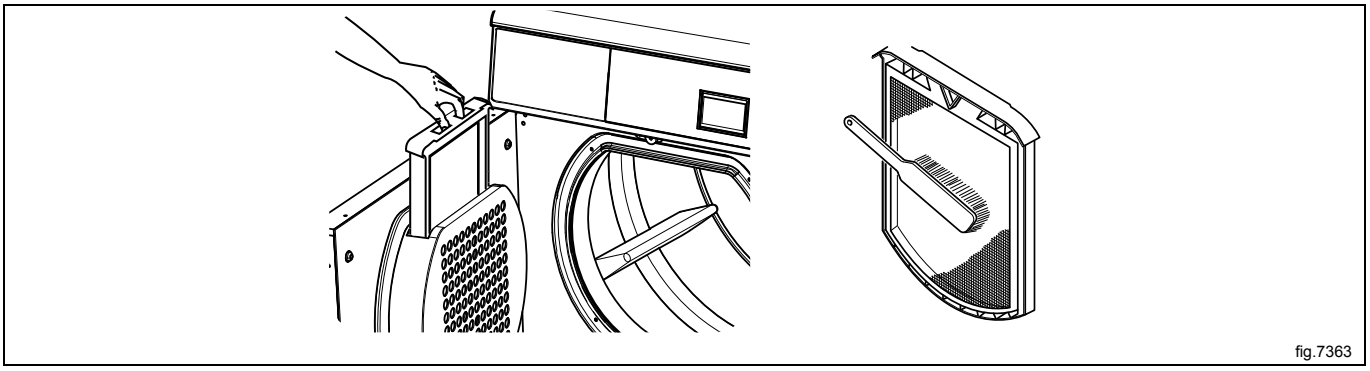
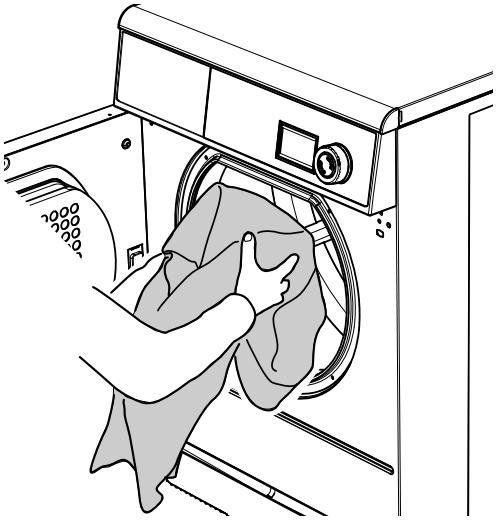


fig.7363

衣類を機内に入れ、ドアを閉めます。
最大容量は6 kgです。



4.2 機械をスタートするには

自動プログラム
コントロールノブでプログラムを選択します。
コントロールノブを押して機械をスタートします。

タイムプログラム
コントロールノブでプログラムを選択します。
コントロールノブを押して機械をスタートします。
開始後、選択したプログラムの時間を変更することができます。 コントロールノブを回して、希望の時間に設定してください。

コイン操作機械
コントロールノブでプログラムを選択します。
正しいコイン枚数を挿入して、機械をスタートおよび/またはコントロールノブを押します。
スタート後、選択したプログラムの時間を追加することができます。 時間を追加するには、コインを再度挿入します。

4.3 その他の機能

スタート後に選択可能な追加機能のメニューがあります。コントロールノブを押すと、メニューがディスプレイに表示されます。
コントロールノブを回してメニューから選択し、コントロールノブ を押して有効にします。

注
機械によっては、一部の機能が利用できない、または有効にならないことがあります。

一時停止
継続中のプログラムを一時停止することが可能です。
一時停止を選択して有効にします。
一部の機種では、コントロールノブを押した後直接に一時停止することもできます。
コントロールノブを再度押すと、プログラムは継続します。

プログラムの終了
開始後にプログラムを終了することができます。
プログラム最終を選択して有効にします。
コントロールノブを押すと、プログラムは終了します。

[Status（ステータス）**]**
ｽﾃｰﾀｽ ﾒﾆｭｰを選択して有効にします。
ステータスメニューは、ｷｭｳｷ ｵﾝﾄﾞ、ﾊｲｷ ｵﾝﾄﾞ、RMC、および機械の熱のステータスを表示します。

4.4 プログラムの終了時

注
乾燥結果を最適にするためには、プログラム終了後ただちに洗濯物を取り出すことが重要です。
プログラム終了後ただちに機械を空にしなければ、ドラムは、衣類にシワが寄るのを防止するため、短い時間間隔で回転します。
稼動状態を最適化するには、各乾燥サイクルの後にフィルターを掃除します。

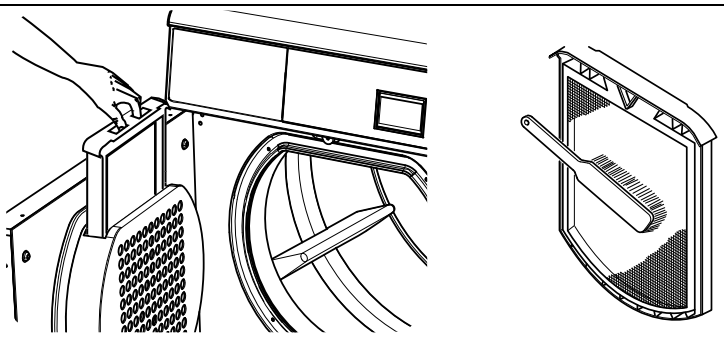


fig.7363

5 エラーコード

プログラムや機械のエラーは、ディスプレイにエラーコードで示されます。
こういったエラーコードの中には、サービス担当者に問い合わせる必要なしに簡単に解決できるものもあります。

エラーコード	テキスト	[原因 / 行動]
12:11	RMC ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑｼﾞ ｶﾝｿｳ ｴﾗｰ	許可される最長のRMC時間を超過しました。 (RMC付きの機械にのみ該当) 機械に衣類が入り過ぎているか、衣類が濡れ過ぎています。
12:12	ｶﾝｿｳ ｴﾗｰ ｼﾞﾄﾞｳﾃｲｼ ｷﾉｳ ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ	許可される最長自動停止時間を超過しました。 (自動停止機能付きの機械にのみ該当) 機械に衣類が入り過ぎているか、衣類が濡れ過ぎています。
12:18	リトライ回数	洗濯物によって空気の流れが遮られていることを示します。 洗濯物を再配分してください。 エラーメッセージを消去するには、本機を再スタートします。
20:1	O.H.ﾄﾞﾗﾑ ﾓｰﾀｰ	モーターの温度が高過ぎます。 機械はモーターの温度に問題がない場合、自動的に再スタートします (ドアが開いていない場合)。

6 メンテナンス

6.1 一般

定期的にメンテナンスを実施するのは、機械の所有者またはコインランドリーの管理者の皆さまの責任です。

注
メンテナンス不足は、機械の性能を低下させ、コンポーネントに損傷を与えることがあります。

6.2 メンテナンスの時期

ディスプレイに ﾒﾝﾃﾅﾝｽﾉｼﾞｶﾝ というメッセージが表示されたら、機械の所有者 / コインランドリーの管理者に連絡して、メンテナンスを行ってください (電話番号および/またはタグが表示されることもあります)。

機械はその間利用できます。 ただし、メッセージの表示はサービスが行われるまで続きます。

メッセージは30秒後、あるいはコントロールノブまたはその他のボタンが押されると消えます。

6.3 毎日

ドアまたはフィルタードアが開いている状態で、機械がスタートしないことを確認し、スタートする場合は修理が実施されるまで使用不可としてください。

注
該当機の電源接続を外す場合は、資格を持つサービスの担当者に連絡してください。

ドア、ドアガスケット、その他の外部部品を掃除してください。

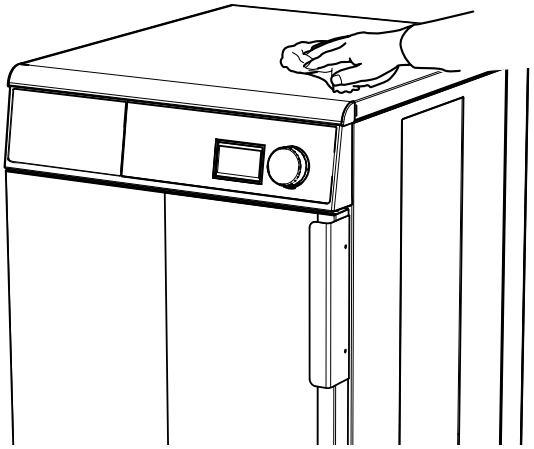


fig.7362

フィルターが清潔で損傷がないことを点検します。 必要であれば清掃するか交換してください。

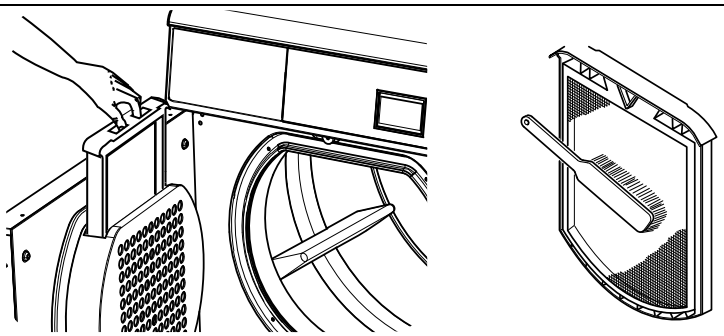


fig.7363

機械の周囲のリントとホコリを取り除いてください。

6.4 外気取り入れ口

定期的に、機械の前面にある外気取り入れ口にリントやホコリが詰まっていないことを確認してください。
真空クリーナーで掃除してください。

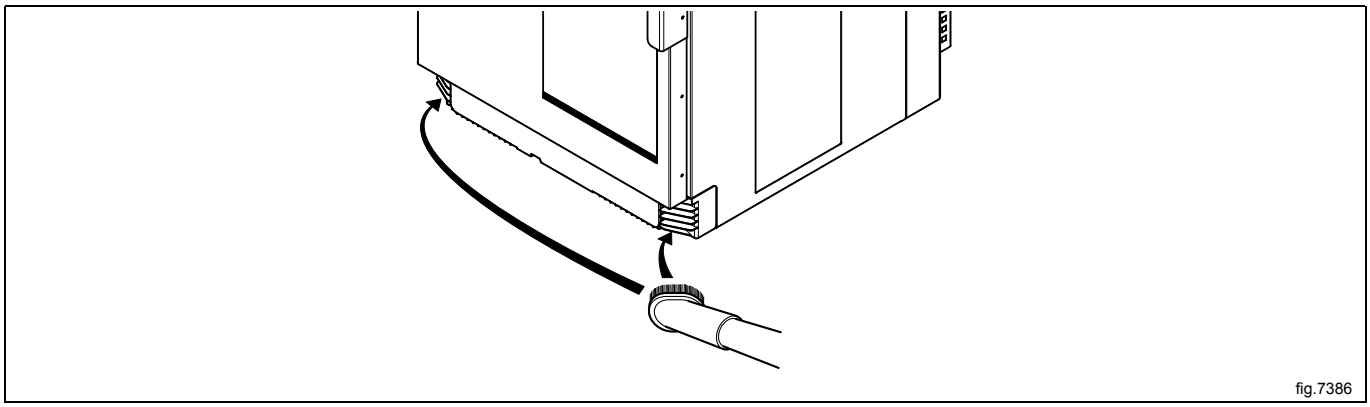


fig.7386

6.5 残留水分検知機能(RMC)を装備

定期的に、ドラムとフィルターをクエン酸で拭き、きれいにします。 洗剤や柔軟剤が残留している場合、硬めのスポンジでこすることをお勧めします。

清掃を怠ると自動残留水分検知装置の性能が下がり、プログラムが終了しても設定より多くの水分が残っている結果となりかねません。

6.6 コンデンシングユニット

定期的に、コンデンシングユニットを清掃してホコリやリントを除去してください。

機械からコンデンシングユニットを外して、水で洗浄します。 ホコリやリントがすべて除去されたことを確認してください。

エアコンデンサーがマシンへ設置されているエリアを掃除してください。

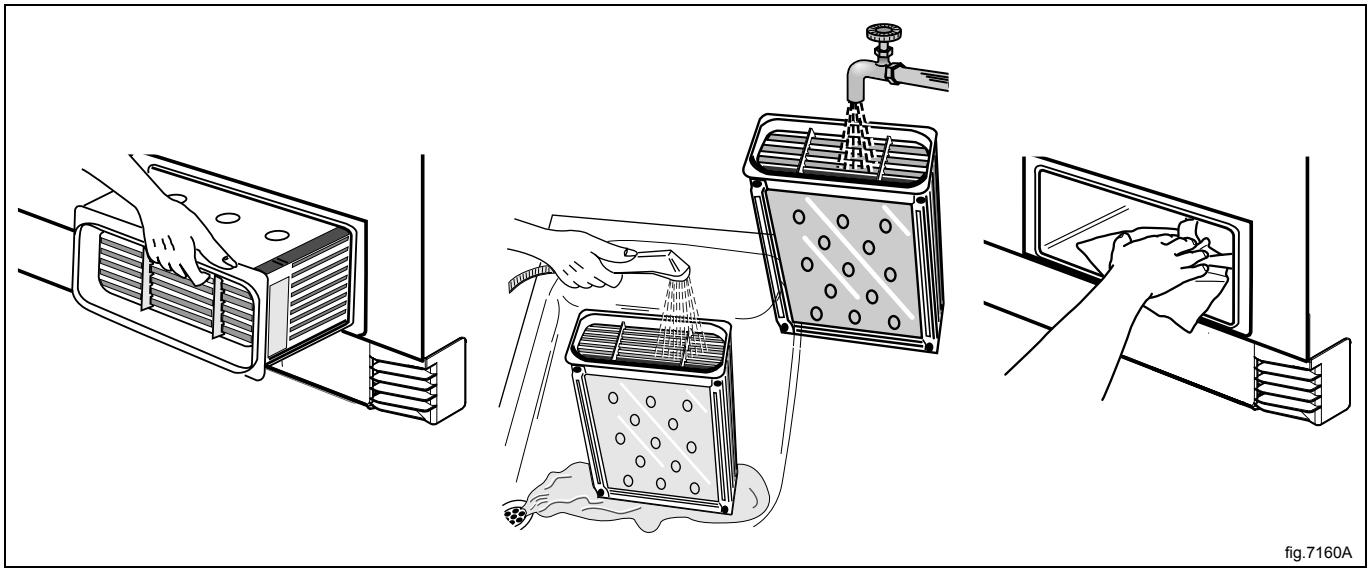


fig.7160A

6.7 メンテナンスは有資格者が行わねばなりません。

以下のメンテナンス作業を行うには、資格を持つサービス担当者に連絡してください。

1600時間の運転後または1年に1回、以下を行なってください。

- ファン、排気管、外気の取り込み部分の清掃
- RMCを装備した機械の場合： RMCグラファイト収集部の滑り面を清掃してください。
- ドラム周辺の清掃
- モーターを清掃してください。
- ベルトの張り具合を確認

Electrolux Laundry Systems Sweden AB
341 80 Ljungby, Sweden
www.electrolux.com/professional

Share more of our thinking at www.electrolux.com